

新しい日米外交を切り拓く

沖縄・安保・原発・TPP、
多様な声をワシントンへ

猿田佐世

New Diplomacy Initiative by Sayo Saruta

新外交イニシアティブ／弁護士

なぜ沖縄の声アメリカに届かないのか
「アメリカの声」は、いかに作られるのか

沖縄米軍基地や原発、TPPなどについて、米議会へ働きかけを行い、政府が伝えない声をアメリカの中樞ワシントンに届けてきた猿田佐世が、ロビイングの実践から見えてきた歪んだ日米関係を明らかにする。政府と一部の大企業による従来の日米外交を切り崩す、画期的な視点！

トランプ大統領の下で、日米関係はどうなるのか？

[目次]

- 1 プロローグ 沖縄をワシントンに伝える
- 2 日米外交に目を向けるまで
- 3 ワシントンという街でした経験
- 4 既存の日米の外交チャンネル
- 5 日本政府や日本企業とワシントン
- 6 アメリカに声を伝えるということ
- 7 日米原子力エネルギープロジェクト
- 8 様々な声を政策に反映するために——NDのプロジェクト紹介
- 9 ワシントンや外交の可視化を

新しい外交とは ND評議員からのメッセージ
山口二郎、鳥越俊太郎、柳澤協二、屋良朝博、マイク・モチヅキ

猿田佐世 (さるた さよ)

新外交イニシアティブ事務局長。弁護士。1977年、東京都生まれ。早稲田大学法学部卒業後タンザニア難民キャンプでのNGO活動などを経て、2002年に日本にて弁護士登録。アムネスティ・インターナショナル、ヒューマン・ライツ・ウォッチ等の国際人権団体で活動。2008年にコロンビア大学ロースクールにて法学修士号を取得し、2009年にアメリカ・ニューヨーク州弁護士登録。2012年には、アメリカン大学国際関係学部にて国際政治・国際紛争解決学修士号を取得。2013年にシンクタンク「新外交イニシアティブ」を設立した。ワシントン在任時から現在まで、各外交・政治問題について米議会等で自らロビイングを行うほか、日本の国会議員や地方公共団体等の訪米行動を実施。2015年6月の沖縄訪米団、2012年・2014年の二度の稲嶺進名護市長の訪米行動の企画・運営を担当した。共著に「虚像の抑止力」(旬報社)、『日米安保と自衛隊』(岩波書店)など。



2016年10月26日 発売

発行＝集英社クリエイティブ

発売＝集英社

定価 本体1400円＋税

ISBN978-4-420-31076-5

四六判ソフトカバー／248ページ

好評発売中！